

スリーハート

第 8 号 平成 2 8 年 1 2 月 1 日 (木) 発行

今年も後 1 か月になってしまいました。この歳になると、1 年 1 年が本当に早く感じられます。今年中取り組みたいことがあります。それは、校長教育相談です。朝交通指導に行くと、多くの方が話しかけてくださいます。その中で「子育てで、こんなことに困っています」「うちの子〇〇ができなくて、どうしたらいいのでしょうか」など子育てで悩んでいる方が多いようです。相談できる公共の場所は、平日ばかりで働いている人にとっては行くことが難しいという声も多くあります。そこで、月 1 回土曜日または日曜日に校長と教育相談を行いたいと思います。内容は、子育てだけでなく、学校のこと、家庭のこと何でもかまいません。秘密は厳守しますのでぜひお越しください。第 1 回目は次の通りです。

第 1 回 教育相談

日時 12月18日(日曜日) 9:00~12:00

場所 校長室(来賓玄関からお入りください)

予約はいりませんので、都合がつく時間に来てください。

話は変わりますが、他の県で保護者が、「給食費を払っていて学校から給食をもらっているわけでないのだから『いただきます』は言わせないでほしい」と言ったことがあったそうです。今週の朝礼でこんな話をしました。「いただきます」「ごちそうさま」についてです。皆様も知っているとおり、「いただきます」は、動物、植物から命をいただいて人間は食事をしていて、その感謝を込めての言葉です。「ごちそうさま」は、漢字でご馳走様と書き馬へんや走るが表しているように、もともとは食材を運んでくれる人に感謝を表していましたが、今では、食材を取ったり、育てたりしてくれた人、店まで運んでくれた人、店に買いに行き、調理してくれた人つまりこの料理に関わった人みんなに感謝を込めての言葉です。家でも学校でもしっかり「いただきます」「ごちそうさま」が言えると良いですね。

(校長 恒川則明)

学習発表会

—練習の成果を存分に発揮!—

11月19日(土)

今年の学習発表会も、保護者をはじめ、たくさんの方々にご来場いただき、たいへんな盛り上がりを見せました。国語や社会、体育、音楽、図画工作で学んできたことを発表する場として、それぞれの学年が工夫を凝らした発表をしてくれました。



—全校合唱—



3年生 劇『ともに生きる』

貧しかったが心豊かな生活を送っていた昔の日本。町中に物があふれ、豊かになった日本。人々の心も豊かになったのでしょうか？ 虫たちの目線で人としてのあり方を語りかける発表劇です。



1年生 劇『ねこにすずをつけちゃった』

ある町に住む恐ろしい猫のネコゴン。そんなネコゴンに鈴を付けるために、ねずみたちが知恵を絞って奮闘します。初めての学習発表会、1年生65名が元気よく演じました。



5年生 劇『ユタとふしぎな仲間たち』

東京から山村へ引っ越してきた勇太(ユタ)。村の生活になじめないユタが座敷童たちと友情を育んでいく姿を通して、仲間を思いやることの大切さを訴えました。



2年生 音楽劇『そんごくう』

孫悟空が、猪八戒と沙悟浄とともに三蔵法師を守って天竺へ旅するお馴染みのお話です。歌と踊りを交えて、2年生が身体いっぱいを使って、西遊記の世界を見事に表現しました。



4年生 劇『ふるさと・につぼん』

日本各地に伝わる伝統の踊りや音楽。その中から北海道のソーラン節、神奈川県の高さこい、沖縄県のエイサーを、4年生皆が息の合った楽器演奏と踊りで表現しました。



6年生 劇『本当の宝物は?』

世界宝物コンクールが甚西小で開かれました。様々な宝物自慢が繰り広げられる中で、一番の宝物は何でしょうか。それは……。何物にも代えられない大切な宝物に私たちは気がつきました。



愛であ朝ごはんコンテスト

11月20日(日)

このコンテストは、地元の食材や郷土料理を取り入れながら、家族で美味しく食べる「愛であ朝ごはん」の献立づくりや調理などを通して、親子で望ましい食生活について一緒に話し合ったり、家族の絆を深め合ったりすることを目指して毎年開催されています。今年度は、県内の小学校から323校、10,699点の応募があり、入選10点と佳作90点の献立を選ばれました。この日、入選献立を考えた10名の小学生本人が実際に調理をし、できばえを競いました。今年度、本校児童2名が本選に出場し、最優秀賞と優秀賞を獲得するという快挙を達成しました。

